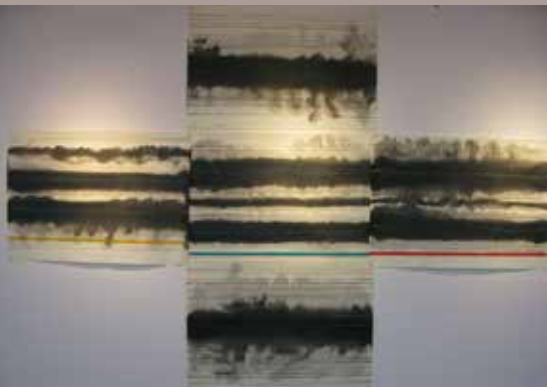




阿部典英 【ネェ ダンナサンあるいは告・克・刻】 2009年



荒井善則 【Soft Landing to Season】 2023年



櫛原武正 【大地開墾】 2024年



佐渡富士夫 【無題】



千葉豪 【愛し合う二人のいる風景】(部分) 1970年



一原有徳 【X2-5】 1963+79年



岡倉佐由美 【パンドラの箱】 2017年

インスタレーションやパフォーマンスなど、現代美術に見られるさまざまな表現には、今もダダの精神が失われることなく息づいています。北海道で遅れて花開いたダダ展=「SEVEN DADA'S BABY」は、オルガナイザー・柴橋伴夫によって、1982年ギャラリーユリイカ(札幌)で開催されました。7名のアーティストは、「SEVEN DADA'S BABY」のほか、北海道の地で起こった「The VISUAL TIME」「シーサイド展」「Today」「今日の正常位展」などで作品を発表し、既存の美術の枠組みを超えた新たな表現で美術界に刺激を与え、北海道の前衛美術が活況を呈していく原動力となりました。

本展は、40年前の展覧会と1980年代の時代をあらためて見直し、北海道の現代美術をリードした7名を柴橋伴夫とともにピックアップし再考するものです。ダダをキーワードに、自然物や廃材を使ったインスタレーション、物質そのものを提示するオブジェ、コミュニケーションアート、パフォーマンスの領域をご紹介します。

本展では、阿部典英、荒井善則、岡倉佐由美、佐渡富士夫、千葉豪、櫛原武正、さらに当館の代表的な収蔵作家・一原有徳を加えた7名のアーティストを選び考察いたします。開催から40年以上が経過し、現在それは受け継がれているのか、それともどのように変容したのか、7人のアート・ドキュメントとして、80年代以降現在に至る作品を展覧するものです。

【関連事業】 要観覧料・要予約 お申し込みお問い合わせ 0134-34-0035 市立小樽美術館

- パフォーマンス「ダダへの招待状-岡倉佐由美とともに」
- アーティストトーク第1弾 荒井善則/岡倉佐由美/櫛原武正
- アーティストトーク第2弾 阿部典英/佐渡富士夫(尚子)/千葉豪
- 特別講演「現代に息づくダダの冒険」柴橋伴夫(本展監修者)
- 一原有徳作品解説会 (担当学芸員) 13:00-13:30
- ミュージアムコンサート ギタリスト 竹形貴之 14:00-14:40

- 5月11日(土)14:00-15:00 1階研修室 50名
- 5月11日(土)10:00-11:00 2階展示室内 50名
- 6月8日(土)10:00-11:00 2階展示室内 50名
- 5月25日(土)14:00-15:30 1階研修室 100名
- 6月15日(土) 3階一原有徳記念ホール 50名



市立小樽美術館  
otaru city museum of art

〒047-0031 小樽市色内1丁目9番5号  
Tel:0134-34-0035 Fax:0134-32-2388

助成：公益財団法人 朝日新聞文化財団 協賛：市立小樽美術館協力会

JR函館本線		小樽駅
●小樽経済センター		
●産業会館	長崎屋	●サンビルスクエア
●オーセントホテル小樽		
●郵便局本局		
●小樽芸術村		
小樽運河		
JR手宮線		
●市立小樽美術館		
●金融資料館 (旧日本銀行)		